



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月1日

上場取引所 東

上場会社名 イーグル工業株式会社

コード番号 6486 URL <http://www.ekkeagle.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴 鉄二

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員財務本部長 (氏名) 池田 澄男 TEL 03-3438-2291

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	34,626	△5.4	2,913	△37.2	2,240	△57.4	1,235	△63.7
28年3月期第1四半期	36,591	11.1	4,641	30.6	5,261	43.4	3,401	31.8

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △5,239百万円 (ー%) 28年3月期第1四半期 5,204百万円 (223.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	25.36	ー
28年3月期第1四半期	70.40	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	146,277	65,723	40.6	1,218.39
28年3月期	154,807	72,402	42.3	1,343.99

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 59,390百万円 28年3月期 65,439百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	ー	20.00	ー	25.00	45.00
29年3月期	ー				
29年3月期(予想)		20.00	ー	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	68,700	△4.7	5,300	△36.3	5,000	△49.6	2,700	△56.2	55.41
通期	137,400	△4.2	11,000	△21.3	11,400	△23.3	6,800	△26.1	139.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	49,757,821株	28年3月期	49,757,821株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	1,013,055株	28年3月期	1,067,225株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	48,702,577株	28年3月期1Q	48,316,205株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は（添付資料）P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済情勢は、欧州、アジア、新興国が伸び悩む中、米国経済が牽引する状況が続きましたが、6月の英国国民投票でEU離脱派が多数を占めたことで、世界の主要金融市場には大きな動揺が走りました。これにより英国、欧州での政治的、経済的な不透明感が高まり、米国、中国、アジア各国においても今後の経済への影響について慎重な見方が拡がりました。

日本経済においては、急速な円高が進んだことで企業業績下押しへの懸念が高まり、今後の景気動向は予断を許さない状況となりました。

このような経済環境のもと当社事業においては、自動車・建設機械業界向け事業で自動車向け製品の販売が堅調に推移した一方、船用業界向け事業では交換部品を中心に販売が大幅に減少いたしました。また、急速に進んだ円高により各セグメントとも売上、収益面への影響が避けられない状況となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は346億26百万円（前年同期比5.4%減）、営業利益は29億13百万円（前年同期比37.2%減）、経常利益は22億40百万円（前年同期比57.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億35百万円（前年同期比63.7%減）となりました。

セグメント別の事業状況は次のとおりであります。

[自動車・建設機械業界向け事業]

当事業は、自動車向け製品の販売が国内・北米で堅調に推移すると共に欧州新会社の販売も寄与し、建設機械向け製品の販売も増加に転じましたが、為替換算の押し下げ影響により、当セグメントの売上高は220億93百万円（前年同期比0.2%減）、営業利益は19億87百万円（前年同期比27.3%減）となりました。

[一般産業機械業界向け事業]

当事業は、海外での販売はインドや東南アジアで堅調に推移したものの、為替換算の押し下げ影響が大きく、また国内向けも需要減となったことから、当セグメントの売上高は78億20百万円（前年同期比9.3%減）、営業利益は7億56百万円（前年同期比28.7%減）となりました。

[船用業界向け事業]

当事業は、景況の悪化に伴い新造船の需要が減少したこと及び新海洋規制に伴う修繕の部品需要が大幅減となったことから、当セグメントの売上高は26億66百万円（前年同期比31.3%減）、営業利益は1億23百万円（前年同期比86.0%減）となりました。

[航空宇宙・光工学業界向け事業]

当事業は、航空宇宙関連製品の販売が減少したものの、光工学業界向け製品の販売が増加したことにより、当セグメントの売上高は20億47百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益は51百万円（前年同期は営業損失42百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

[資産]

当第1四半期連結会計期間末の資産は1,462億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ85億29百万円減少いたしました。これは主として電子記録債権が3億2百万円増加した一方、投資有価証券が21億65百万円、有形固定資産が18億92百万円、現金及び預金が15億56百万円、その他の流動資産が15億56百万円減少したことによるものであります。

[負債]

当第1四半期連結会計期間末の負債は805億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億50百万円減少いたしました。これは主として電子記録債務が4億80百万円増加した一方、未払法人税等が7億94百万円、買掛金が7億85百万円、賞与引当金が7億55百万円減少したことによるものであります。

[純資産]

当第1四半期連結会計期間末の純資産は657億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ66億79百万円減少いたしました。これは主として退職給付に係る調整累計額が2億4百万円増加した一方、為替換算調整勘定が63億78百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年7月14日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,692	19,136
受取手形及び売掛金	30,071	28,663
電子記録債権	1,731	2,034
商品及び製品	5,147	4,997
仕掛品	7,726	7,882
原材料及び貯蔵品	4,890	4,760
その他	7,276	5,720
貸倒引当金	△104	△98
流動資産合計	77,431	73,095
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,823	18,926
機械装置及び運搬具（純額）	18,779	18,176
その他（純額）	10,189	9,797
有形固定資産合計	48,792	46,900
無形固定資産		
のれん	4,173	3,991
その他	2,755	2,970
無形固定資産合計	6,929	6,961
投資その他の資産		
投資有価証券	16,009	13,843
その他	5,900	5,728
貸倒引当金	△255	△252
投資その他の資産合計	21,654	19,320
固定資産合計	77,376	73,182
資産合計	154,807	146,277

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,940	7,155
電子記録債務	7,603	8,083
短期借入金	13,570	13,663
未払法人税等	2,112	1,317
賞与引当金	2,279	1,524
その他の引当金	189	184
その他	11,884	11,871
流動負債合計	45,581	43,799
固定負債		
長期借入金	20,747	20,804
引当金	332	322
退職給付に係る負債	14,716	14,550
その他	1,026	1,076
固定負債合計	36,823	36,754
負債合計	82,404	80,554
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,490	10,490
資本剰余金	11,474	11,394
利益剰余金	48,951	49,108
自己株式	△998	△892
株主資本合計	69,918	70,101
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	377	319
為替換算調整勘定	△479	△6,857
退職給付に係る調整累計額	△4,377	△4,172
その他の包括利益累計額合計	△4,478	△10,711
非支配株主持分	6,963	6,332
純資産合計	72,402	65,723
負債純資産合計	154,807	146,277

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	36,591	34,626
売上原価	25,946	25,830
売上総利益	10,645	8,796
販売費及び一般管理費	6,003	5,882
営業利益	4,641	2,913
営業外収益		
受取利息	40	38
受取配当金	16	14
持分法による投資利益	291	204
為替差益	318	—
その他	260	199
営業外収益合計	926	458
営業外費用		
支払利息	138	118
為替差損	—	973
寄付金	100	5
その他	67	33
営業外費用合計	306	1,130
経常利益	5,261	2,240
特別利益		
固定資産売却益	1	4
特別利益合計	1	4
特別損失		
固定資産売却損	2	1
固定資産除却損	12	20
特別損失合計	15	22
税金等調整前四半期純利益	5,247	2,223
法人税等	1,570	744
四半期純利益	3,676	1,478
非支配株主に帰属する四半期純利益	275	243
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,401	1,235

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	3,676	1,478
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	109	△58
為替換算調整勘定	774	△5,022
退職給付に係る調整額	105	159
持分法適用会社に対する持分相当額	538	△1,797
その他の包括利益合計	1,527	△6,718
四半期包括利益	5,204	△5,239
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,913	△4,997
非支配株主に係る四半期包括利益	291	△242

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	舶用業界 向け事業	航空宇 宙・光工 学業界向 け事業	合計	調整額	四半期連 結損益計算 書計上額
売上高							
外部顧客への売上高	22,134	8,619	3,878	1,960	36,591	—	36,591
セグメント間の内部売上高 又は振替高	44	45	1	0	92	△92	—
計	22,179	8,664	3,880	1,960	36,684	△92	36,591
セグメント利益又は損失(△)	2,734	1,061	878	△42	4,632	9	4,641

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額9百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	舶用業界 向け事業	航空宇 宙・光工 学業界向 け事業	合計	調整額	四半期連 結損益計算 書計上額
売上高							
外部顧客への売上高	22,093	7,820	2,666	2,047	34,626	—	34,626
セグメント間の内部売上高 又は振替高	44	24	5	—	74	△74	—
計	22,137	7,844	2,671	2,047	34,701	△74	34,626
セグメント利益	1,987	756	123	51	2,918	△5	2,913

(注) 1. セグメント利益の調整額△5百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。